

2020年(令和2年)3月7日(土)

# ネパールの寺院に寄贈



## ネパールに設置するバイオトイレの処理施設 北杜市で

静岡県三島市のNPO法人とネパール日本友好協会(大月市)が、ネパールの世界文化遺産のヒンズー教寺院にバイオトイレを贈る計画を進めており、2月に寄贈品が完成した。屎などの有機物を分解する微生物の特徴を生かしたバイオトイレは、寺院や周辺の衛生環境の改善につながることが期待されている。今夏に現地に設置される予定だ。【石川宏】

設置されるのは首都  
カトマンズにある世界  
遺産のパシユ・パティナ  
ート寺院。世界中から  
観光客が訪れるが不衛  
生な状態にある。  
ネパール日本友好協  
会が2014年、富士

# バイオトイレ完成

三井住友建設（東京都中央区）が費用を支援し、製作は伸和鉄工（北杜市）が請け負った。富士山には1998年以降、静岡、山梨両県の登山口や山頂付近にバイオトイレ42基が設置され、バクテリアにより屎尿を水と窒素ガスに分解する仕組みは同じ。ネパールには1日4000～6000人分のし尿処理能力があるユニット（奥行き1・8m、高さ3・2m）1基を贈る。輸送を考

山にバイオトイレを設置した実績があるNPO法人・グラウンドワーク三島（GW三島）に相談して計画がスタート。「安全な水トイレを世界中に」は、国連が30年までに達成すべきだとした17の持続可能な開発目標（SDGs）の一つ。SDGs推進に力を入れる

「に作れるだけの技術を  
学んだ」と話す。

ラナバットさん(27)も  
伸和鉄工で製作に参  
加。ダマンさんは「カ  
トマンズには下水道は  
あるが、下水処理施設  
が不足しており、処理  
せずに川に流している  
のが実情。ネパールで  
メンテナンスし、新た

慮し、ユニットは7分割にできるようにしました。

富士山は1998年以降、静岡・山梨両県の登山口や山頂付近にバイオトイレ42基が設置され、バクテリアにより屎尿を水と窒素ガスに分解する仕組みは同じ。ネパールには1日4000~6000人分のし尿処理能力があり、ユニット(奥行き1m×3.7m×2.8m)の設置場所は、主に河川沿いの市街地で、河川の排水による雑排水やし尿の流入で水質悪化した。バイオトイレ導入は河川の水質改善に寄与し、波及効果は計り知れないと説明している。

CS推進に力を入れる三井住友建設（東京都中央区）が費用を支援し、製作は伸和鉄工（北杜市）が請け負った。トイレは3月には現地に設置予定だったが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、夏に延期された。

DGs) の一つ。SDGs が達成に力注ぐから、SDGs の一つ。SDGs は作られるだけの技術を学んだ」と話す。

国連が30年までに達成すべきだとした17の持続開発目標(SDGs)が、実現するためには、各々のSDGsを達成するための行動計画を策定する必要があります。この行動計画は、SDGsの達成目標を明確にし、それを実現するための具体的な手段や方法を示すものです。また、行動計画は、SDGsの達成目標を実現するための資源や人材を確保するための指針としても機能します。

「ト、安全な水とト  
イレを世界中に」は、  
か不足しており、処理  
せずに川に流している  
のが現状。ペペ

トマンズには下水道はあるが、下水処理施設が不足している。そこで、計画がスタートした。

山にバイオトイレを設置した実績があるN.P.O法人・グラウンドワラナバットさん(27)も、伸和鉄工で製作に参加。ダマンさんは「力加減が、アバウトよくなればいい」と笑顔で語る。



もっと  
知りたい